

## 林業就業者の推移

(単位：人，%)

年	就業者数	男	女	30才未満	30～49才	50才以上	再掲60才以上
35	3,116	2,325	791	888	1,480	748	281
	(構成比)	74.6	25.4	28.5	47.5	24.0	9.0
40	2,023	1,591	432	391	1,086	546	216
	(構成比)	78.6	21.4	19.3	53.7	27.0	10.7
45	1,750	1,410	340	245	1,020	485	200
	(構成比)	80.6	19.4	14.0	58.3	27.7	11.4
50	1,412	1,192	220	117	826	469	143
	(構成比)	84.4	15.6	8.3	58.5	33.2	10.1
55	1,601	1,351	250	123	736	742	195
	(構成比)	84.4	15.6	7.7	46.0	46.3	12.2
60	1,390	1,174	216	105	453	832	235
	(構成比)	84.5	15.5	7.5	32.6	59.9	16.9
H2	1,090	896	194	62	333	695	266
	(構成比)	82.2	17.8	5.7	30.5	63.8	24.4
H7	832	706	126	66	221	545	295
	(構成比)	84.9	15.1	7.9	26.6	65.5	35.5
H12	757	621	136	81	189	487	264
	(構成比)	82.0	18.0	10.7	25.0	64.3	34.9
H17	596	499	97	55	179	362	204
	(構成比)	83.7	16.3	9.2	30.1	60.7	34.2
H22	653	564	89	89	181	383	213
	(構成比)	86.4	13.6	13.6	27.7	58.7	32.6
H27	724	611	113	97	226	401	246
	(構成比)	84.4	15.6	13.4	31.2	55.4	34.0
R2	689	579	110	71	229	389	256
	(構成比)	84.0	16.0	10.3	33.2	56.5	37.2

資料：国勢調査報告

※林業就業者：林業を主業にしている事業所で働く人数（産業分類）。

該当する事業所で働く事務職員等を含む。

※公表データは全数推計に基づく数値で、見込まれる誤差率が低い。

※平成17年調査と平成27年調査の間に産業分類の定義変更があり、平成17年には「協同組合（他に分類されないもの）」に分類されていたかなりの森林組合が、平成22年には「林業」に分類されるようになり、結果として統計上の林業就業者が急増した経緯があるため、平成17年以前と平成22年以降の数値を単純に比較できない。